

6月27日(水)

市の人事制度について



堤 正之

合併後、副部長など管理職が増えている。管理・監督職の人員、構成比は。今後の定員計画を問う。市の提唱する「がんばる職員が

報われる人事制度構築」とは。人事、給与、人材育成を連係させた人事評価制度の見直しはできないか。

答弁 企業と病院を除く職員数千二百七十七人中課長級以上が百五十三人で割合は十二％。副課長・係長級は六百二十八人で四十九％。定員計画は五年間で

百八十五人削減し、役職者の構成比率等も念頭に行革を進める。また十月の合併後には定員適正化計画を見直す。がんばる職員が報われる人事制度とは、人事評価制度の結果を人事や給与に反映させ適切な処遇を行い、また人材育成とも連係をとって、職員の士気を高めるような制度。そういう制度を構築していきたい。

全国市議会議員会表彰

（第八十三回全国市議会議長会定期総会 六月十九日開催）

永年にわたり市議会議員の職にあつて、

市政の振興に努めた功績が認められ、次の六名の方々が表彰されました。

議員在職十五年以上

- 片 淵 時 汎 議員
- 福 井 久 男 議員
- 黒 田 利 人 議員
- 森 裕 一 議員
- 山 下 明 子 議員

議員在職十年以上

- 中 山 重 俊 議員



お知らせ

政治家はいかなる寄附行為も禁止されています

公職選挙法は、政治家の選挙区内の有権者に対する、いかなる名目の寄附行為も禁止しています。

お中元・お祭り・催事等の祝儀・差入れ、葬式等の花輪・供花、病気見舞いなどは「贈らない、求めない、受け取らない」を徹底させていただきますので、関係する多くの方々にご理解いただきますよう、よろしくお願いたします。



飲んだら乗るな！
乗るなら飲むな！！

私たち佐賀市議会は、昨年9月定例会で「飲酒運転撲滅を宣言する決議」を全会一致で可決し、同時に万が一、飲酒運転を行った場合には、市議会議員の職を辞する旨の宣誓書に、議員全員が署名しております。

そこで今回、携帯可能なアルコールチェッカーを議員も自費で購入しました。「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」は当然のことですが、お酒を飲んだ翌朝等、十分に時間があいていても、「本当にもう大丈夫かな？」と慎重に慎重を重ねて、自己管理することが大切だと思います。

「飲酒運転は絶対にしない・させない」という意識で、交通事故のない安全で安心して暮らせる社会づくりを目指していきましょう。

中心市街地活性化 調査特別委員会

四月二十七日開催

エスプレッソについて

〔説明〕 四月にオープンした施設の利用状況は、ほぼ予定どおりの来場者数であり、中心市街地に立地するためか、車利用率は当初予想していたよりも低い。オープン予定の施設について、一階はスーパ、旅

行業、カフェレストランの出店が決定。自然食レストランと出店交渉をしていたが申し込みまでは至らず、ドラッグストアから正式な申し込みがあり、テナント審査会でも了承された。

二階は市民サービスセンター、観光交流プラザに加え、新たに再就職希望者の支援事業を行う二十一世紀職業財団が決定。医療・健康ゾーン三カ所のうち一カ所は医療施設の開業が内定。

残りの区画は現在交渉中であるが、状況はかなり厳しく、代替案も含めて検討中である。

建物の管理運営について、一・二階は公募による指定管理者とし、利用料金制度を採用し、七月には公募を実施する予定。三階は現在管理している佐賀市文化振興財団との契約が八月末までなので、一年間を目途に随意契約したい。

〔質問〕 南側外構は当初、飲食店を想定したカフェテラスであったが、ドラッグストアだとなるのか。

〔答弁〕 外構はほぼ完成しており、状況を承知した上での出店申し込みである。まちなかに賑わいが出るようなイベントに活用したい。

は考えられないか。

〔答弁〕 講座で使用する用具は教室内で講師が安価で販売しており、ショップ的なことは難しいと考えていたが、三階フロアとの連動性や二階部分の医療・健康というコンセプトを含めて、どういったことができるか、再度、検討していきたい。

〔意見〕 周辺の商店街が客を取り込むような努力をしていかないと、何のために取り組んでいるのかわから



4月にオープンした子育て支援センター「ゆめ・ほけっと」

市立病院等 調査特別委員会

四月二十七日開催

富士大和温泉病院の平成十八年度業務状況及び平成十九年度病院経営の基本的な考え方について

〔説明〕 一日平均の入院単価は、前年度と比べて一般急性期病床での減額が目立つ。眼科の医師が非常勤となり、眼科手術の件数等が大幅に減ったことが主な原

因だと思われる。十九年度は地域包括ケアを目指し、通所リハビリ、訪問看護、人間ドック、健康診断に力を入れる。

〔質問〕 十九年度に健康診断を二百件行うという内訳は。

〔答弁〕 現在日常の外來業務の中で健康診断も取り扱っているが、その範囲内で達成できると考えている。今後は企業の指定病院となり、土日の受け入れをする

特別委員会

ことも検討する必要がある。



人間ドックの様子

三瀬診療所の平成十八年度業務状況について

〔説明〕 歯科の患者一人当たり単価の減額が目立つが、七月に歯科医が交代した影響が大きいと思われる。今後はインプラント（人工歯植え込み）等の保険外治療が増えて、収入も伸びていくと思われる。

〔質問〕 インプラント等の高額医療で経営の安定を図るには違和感があるがど

うか。

〔答弁〕 昨年七月からの新しい歯科医には、住民の信頼を得るまではインプラント等を勧めないようお願いをしていた。今後はインプラント等を手がけていくと共に、地域住民へのインプラントに関する情報提供もやっていきたい。

旧共立病院建物の売却公募について

〔説明〕 旧共立病院について、これまで病院での活用

市役所内での活用を検討してきたが、活用策が見出せなかったため、民間への売却公募を行いたい。旧共立病院の土地には民有地が含まれているが、先日地権者への説明会を行い、民間公募についてある程度の内諾を得た。六月に市報、ホームページ等を利用して公募を行い、七月末に譲渡先の決定を予定している。